

前沢四丁目

自治会だより

市への要望

－ アンケート結果から －

2年ぶりに実施した「市への要望」アンケートでは61人（うち非会員2人）から98件の要望が寄せられました。役員会で下記のように整理し、市に提出することとしました。なお、これ以外の寄せられた要望についても、これまでの経過を踏まえ、個別に問い合わせ、確認等を行います。

2021年度市への要望（要旨）

1 高齢者への支援体制づくり

ワクチン接種時の申し込みなど、高齢者がデジタル時代にうまく対応できないとき、大学生のボランティアなどと連携し、直接支援できる体制づくりを

2 つばき公園について

- ① 手洗い場の排水設備の改善
- ② 照明灯に時計の設置
- ③ 鉄柵、照明灯の補修
- ④ 遊歩道沿いの樹木の伐採で見通しを良く
- ⑤ 適切な時期の除草、落葉清掃

3 滝山公園の整備

- ① 防犯灯の増設
- ② 樹木の剪定、除草、枯れ枝・ゴミの清掃
- ③ 遊具の修復、設置（ターザンロープ、ブランコ修復、幅広すべり台改良、アスレチック）
- ④ トイレの美化
- ⑤ 滝山公園通りの排水溝の整備

4 道路の補修（特にいたみのひどい11か所）

5 側溝の定期的清掃（畑周り、駐車場横） ↗

2021年7月31日発行（21-3）

発行責任者：広瀬新平（042-444-3539）

- 6 排水設備の改善、雨水桝の清掃
- 7 防犯灯の設置（滝山公園通り、畑周り）
- 8 カーブミラーの設置
- 9 スピード制限（第7分団前の通り）
- 10 「止まれ」標示の修復
- 11 防犯カメラの設置
- 12 遊歩道について
 - ① 照明を遮る樹木の剪定
 - ② 個人の敷地にはみ出している樹木の剪定
 - ③ 枯枝・樹木、果樹、不適切実生樹の伐採
 - ④ 防犯灯の増設
 - ⑤ 凸凹路面の修復
- 13 野良猫の不妊手術への助成

アンケートでは次のような要望も

「側溝にフタを」「プラゴミの分別が厳しすぎる」「ゴミの収集時間が不規則」「児童館南側畑の野菜捨て場の異臭」「新しく設置したカーブミラーが見にくい」「防災行政無線12:10アナウンスの改善」「消防団のサイレン」「個人宅やマンションからはみ出た樹木が通行の障害に」「曲がった消火栓標識の修復」「あおぞらにブックポストの設置を」「婦人科検診を1年に1回に」「中学校に給食設備を」等



毎年改善を申し入れている
つばき公園の手洗い場

また、市への要望というよりも、住民サイド、自治会等への課題も寄せられています。

「公園でバザーを」「子育て世代が集える催しを」「こんな時代、積極的に挨拶、声掛けを」「遊歩道の横断歩道での安全指導」「アパートのゴミの散乱」等。

遊歩道の愛称 「前沢遊歩道(つばき公園通り)」に

遊歩道の「愛称」アンケートには102人から投票があり、37点の候補に対し179票が投じられました(1人2票まで)。

結果は「前沢遊歩道(42票)」「つばき公園通り(28票)」がダントツ。次に多かったのは「前沢みどりの道(17票)」「前沢ふれあいロード(14票)」「木漏れ日通り(11票)」「みどりの道(10票)。「いこいの小径」「まえさわみどりの道」「前沢ふれあいの道」が各5票と続きました。

この結果を受け役員会では遊歩道の前沢四丁目部分を、「前沢遊歩道・つばき公園通り」または「前沢遊歩道(つばき公園通り)」とし、自治会の表示に使用することにしました。応募して下さったみなさん、ありがとうございました。

赤十字募金結果 100,300円

自治会費集金時にお願いした赤十字活動資金は、200人から100,300円募金していただきました。ご協力ありがとうございました。

「チャドクガ」発生！注意を

5月下旬、つばき公園の樺の木にチャドクガを発見、市は1本の木を消毒しました。その後、他の樺の木にも見つかっています。

チャドクガは小さな毒針毛をまき散らし直接触れなくて皮膚炎を発症します。5月～6



月と8月～9月が発生時期です。完全駆除までつばきの木に近づかないようにしましょう。

夏の花の植え付け

遊歩道花壇の夏の花の植え付けは、6月6日、子ども達7人を含む16人で行いました。



花壇、夏の花の植え付け作業、子ども達もがんばりました

社協からも取材に。社協のツイッター、フェイスブックに記事が掲載されています。

資源回収のお知らせ

8月は4日(水)です。

なお、7月から空缶も回収していますが、誤って市の空缶回収の取り扱い説明でお知らせしてしまいました。資源回収で回収できるのは「アルミ缶」だけですのでよろしくお願いします。

2,021年度上期(2～7月)の回収量は6,407kg、報奨金57,663円でした。

オリンピック ～ クレーマーの経験

一度だけNHKに電話で文句を言ったことがある。私も若かった。1984年ロサンゼルスオリンピック。NHKのお昼のニュースで「女子3000m優勝候補アメリカの美人ランナー、メアリーデッカーが裸足のランナーで有名な南アフリカのゾーラバッドと接触して・・・」とあったのである。頭にきた。すぐに電話をかけた。「芸能番組でもあるまいし、NHKのニュースでなぜ女性ランナーに「美人」という言葉を付けるのか。担当者は「ちょっと待ってください」と調べて、「あそこは外信の文書をそのまま使ったのです」とは言ったものの、不適切だったとは最後まで認めなかった。NHK、今はどうかな。

(本音-私のための「美人」とはシェルブールの雨傘のジュヌヴィエーヴ(カトリーヌ・ドヌーヴ)と二十四の瞳の大石先生なのだ)(ひ)